とうきょう すくわくプログラム活動報告書

ひまわりぐみ（５歳児）

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

「自然遊び」
　「きゅうり」を栽培、収穫し観察する

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
園の活動で花育を行っており、５歳児には生長過程が目で見て分かるようなものにした。
きゅうりが食べられることが分ると、張り切って育てている。

２．活動スケジュール

①キュウリの苗をプランターに植える前に、生長過程がわかるように保育室に貼りだす
②きゅうりの苗を園長先生と植える
③きゅうりの葉を観察し、絵を描く
④収穫し、食べる
⑤きゅうりやきゅうりの葉っぱを観察する。（表面、中身の感触、種など）

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
・生長過程の写真を保育室に貼りだす。
・プランター、支柱、きゅうりの苗、土
・観察用の用紙
・水やり当番を決めた

４.探究活動実践

＜活動の内容＞

・プランターに土を入れ、二人で一つの苗を植え、支柱を刺した。
・朝、夕方水やりをおこなう
・茎やツルが伸び始めたときに、観察をし、絵に描き起こす
・きゅうりの栽培、収穫、試食
・ナイフで切って断面や種、においを観察

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・「おおきくなーれ」等、声をかけながら水やりを楽しんでいる。

・花が咲いていることに気づくと、保育室に貼ってある生長過程の写真を見ながら「今、ここ？」と保育者に確認し、成長を実感して喜びを感じている。

・きゅうりの絵を描く際に、「そっとさわるんだよ」と友だち同士で優しく触りながら観察をしている。

・ツルが伸びていることに気がづくと、「こんなに大きくなってる！」と成長を実感しながらきゅうりに触れたり、観察したことを思い出しながら実際に絵に描いている。

・日々の水やりを通してきゅうりの変化に気づいたり、自分たちで育てたきゅうりを食べられることに期待感をふくらませている。

・水やりの度にきゅうりの大きさや重さ、でこぼこしてる感触を実際に触れて感じながら収穫している。収穫したきゅうりを定規で長さを図って大きさを実感したり、においを感じ、収穫できたことに喜びを感じている。

おやつの時間にきゅうりを食べ、「おいしい！」と言いながら味わったり、次の収穫に期待をよせて楽しみに待つ姿がみられた。

・収穫したきゅうりを他クラスの子どもたちに「僕たちが作ったきゅうりだよ」と嬉しそうに配っている。他クラスから「おいしい」と言われるたび誇らしげな表情がみられる。

・ナイフで切ってきゅうりの断面を観察する。「これ、何？」「たね？」と不思議そうに見たり、掘って種を取り出している。切ったことできゅうりのにおいが広がり、敏感に感じている

・大きくなりすぎたきゅうりを子どもたちの見えるところに置いておいた。「これ何？」「ごうや？」と持ったりにおいをかいでいる。『きゅうりが大きくなった！』と伝えると大騒ぎし喜んでいる。

5.振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

・きゅうりの形が出来てくると水やりを率先して行ったり保育者よりも先に変化に気付き興味を持って取り組む姿がみられた。

・子どもたちはお世話をするたびに大きくなっていくことや食べることができたことでさら興味が広がっていった。

・枯れるところまで見ることが出来ず、種の収穫までは出来なかったのが残念だった。